

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >



今月は…『 **予防接種** 』です



私たちは日常生活の中で、さまざまな細菌やウイルスと共存しているため、それぞれに対する抵抗力がないと病気(感染症)にかかってしまいます。

お母さんが臍帯を通じて赤ちゃんにプレゼントした免疫(移行抗体)は、

生後数ヶ月で自然と失われていくため、その後は赤ちゃん自身で免疫をつくる必要が生じてきます。

その手助けとしてワクチンを接種し免疫(病気に対する抵抗力)をつくることにより、発病を予防したり症状を軽くしたりできるのが予防接種です!

**特に保育園などで集団生活をおくる子どもたちは、病気がうつる機会も多くなります。
お子さんの健やかな成長のためにも、予防接種を受けましょう!**

< 同時接種のすすめ >

- ・必要な免疫を早くつけて子どもを守ることができます。
- ・通院回数を減らすことができます。
- ・予防接種スケジュールを立てやすくなり、接種忘れを防げます。



Happy Birthday

同時接種により副反応が強くなったり、

特別な副反応が現れることはありません。



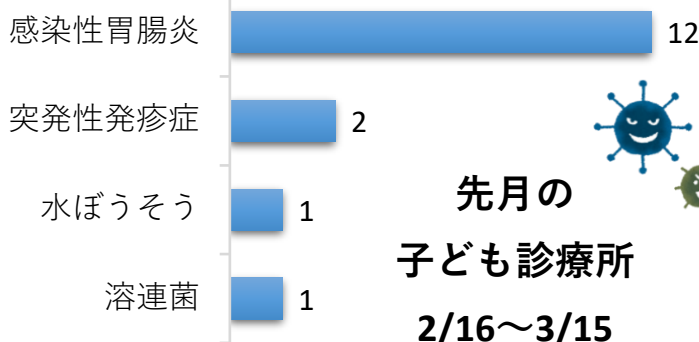
1才のお誕生日を迎えたら…

MR(麻疹・風疹)と水痘(みずぼうそう)、おたふく(任意)が
受けられますよ。免疫力のプレゼントですね!

もちろん同時接種も可能です。ぜひ忘れずに接種しましょう!



< 感染症情報 >



先月の
子ども診療所
2/16~3/15

子ども診療所では…

- ・花粉症のお子さんが多く受診しています。
- ・PCR検査数はまだ多いですが、陽性率は多少減ってきてはいます。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・微熱、鼻水、咳など、軽い風邪症状での入室が主でした。
- ・市内保育園等の休園も目立ちました。

< 新年度あいさつ >

病児保育室「ぱおぱお」は立川市の事業として7年前に始まりました。

当時はさいわい子どもクリニックに併設されていた「ぼけつと病児保育室」1か所だったのですが、市の南部にも欲しいというお母さん方の運動により、できた保育室です。4人の定員ですので、ちょっと風邪が流行するとたちまち定員オーバーになります。また、現在のコロナウイルス感染症の流行期には、お子さんを預かるうえでいろいろな障害が出ています。

来年度こそは、コロナの流行が収まり、お母さん方の要望にお応えできることを心待ちにしています。どうかお気軽にご利用ください。

子ども診療所所長 大久保 節士郎



進級・進学おめでとうございます。

新型コロナ第6波ではお子さんの感染も多く、大変な思いをされたご家庭もあったことと思います。

2～3日で熱が下がり元気になるお子さんがほとんどであったことは幸いでした。

ワクチン接種も進んでいますが、引き続き子どもたちにも制限がかかる日々が続きます。その中でも日々成長していく子どもたちの姿にはこちらが励まされることも多く、大人たちも頑張らないといけませんね。

まだまだコロナウイルスに振り回される日々ですが、気持ちあらたに新年度スタートできますようスタッフ一同願っております。またお子さんとご家族の助けとなれるよう努めて参りますので今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

子ども診療所医師 奥野 理奈



保育スタッフ紹介

病児保育室ぱおぱおは、病気のお子さんはもちろんですが、困った時の保護者の味方でもあります。安心してお子さんを預けられる場所となり、地域の子育て支援として少しでもお役に立ちたいと思っております。お気軽になんでもご相談ください。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



近藤 朋子



三井 里紗



後藤 秀美

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！



何かお困りの際にご相談ください。

* 育児相談も受け付けています

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお (月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777